



愛知県豊田市における 高齢者の移動支援に関する取組み

豊田市長 太田 稔彦





豊田市の紹介 ～豊田市の印象は？～

豊田市の位置



女性 男性

200,373人

222,169人

人口

422,542人

(出典：平成27年国勢調査)

【財政力指数(総務省)】

H26年・・・19位

H27年・・・33位

H28年・・・18位 / 1741自治体

「クルマのまち」「ものづくりのまち」

ものづくり産業集積地



FCV



トヨタ自動車本社



PHV



豊田スタジアム



豊田市美術館



スカイホール豊田



豊田市中央図書館



とよた ecoful town エコフルタウン



豊田市の紹介

～豊かな自然をあわせ持つまち～

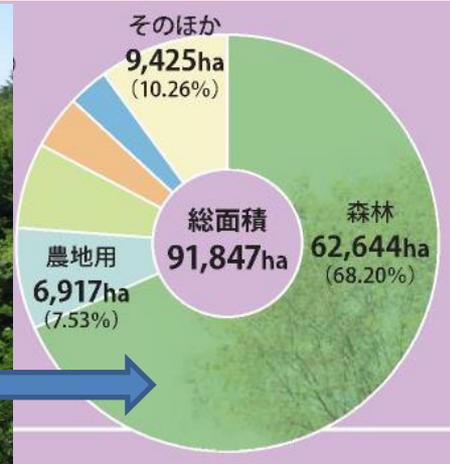
■平成17年に6町村と合併



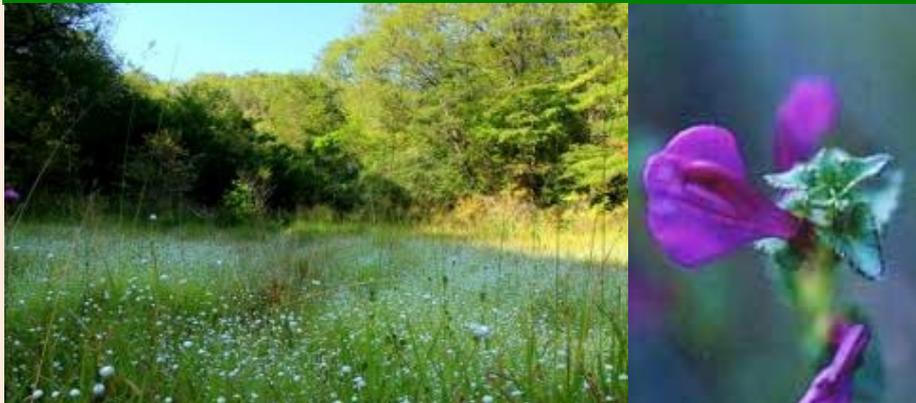
都市近郊部（市域の30%）
人口：40.1万人（95.0%）

中山間部（市域の70%）
人口：2.1万人（5.0%）

■市域の7割を森林が占める



■都市近郊部にも豊かな自然環境



ラムサール条約登録湿地
～東海丘陵湧水湿地群～
トヨタ本社から7km弱の距離

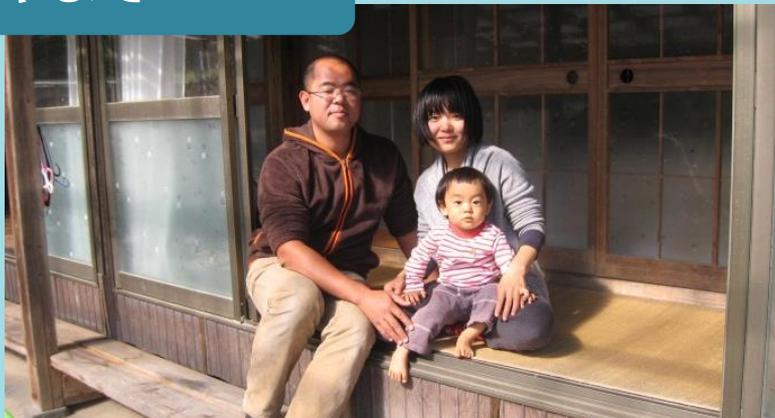
■豊かな自然・農産物・特産物も豊富

- 四季桜(小原)
- 藤の回廊(藤岡)
- モモ
- 米
- ナシ
- アユ
- シンビジウム
- 夢かけ風鈴(旭)
- 香嵐溪の紅葉(足助)
- シイタケ
- 面ノ木高原の樹氷(稲武)
- 三河高原(下山)



豊田市の紹介 ～さまざまな暮らしができるまち～

やまで・・・



空き家情報バンクで中山間地へ移住

【事例1】山村への入り口

豊田市
× トヨタ自動車
× NPOの協働事業



まちで・・・



森と矢作川に育まれた
祝祭・交流空間の創造

【事例2】山村への入り口

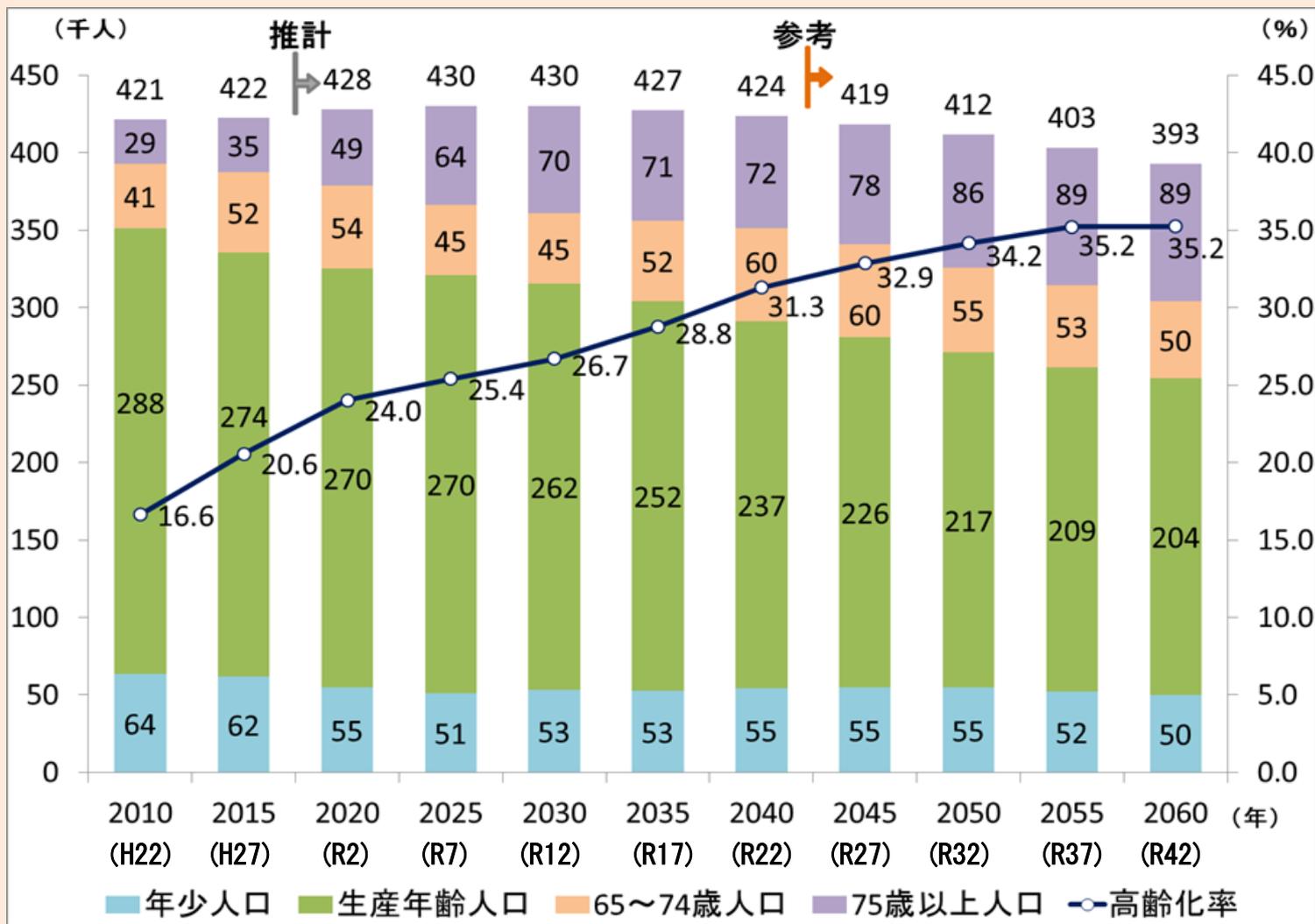
おとなも
子どもも
多様な
体験交流



おいでん・さんそんセンターの
HP・Facebookをチェック!



豊田市の将来人口

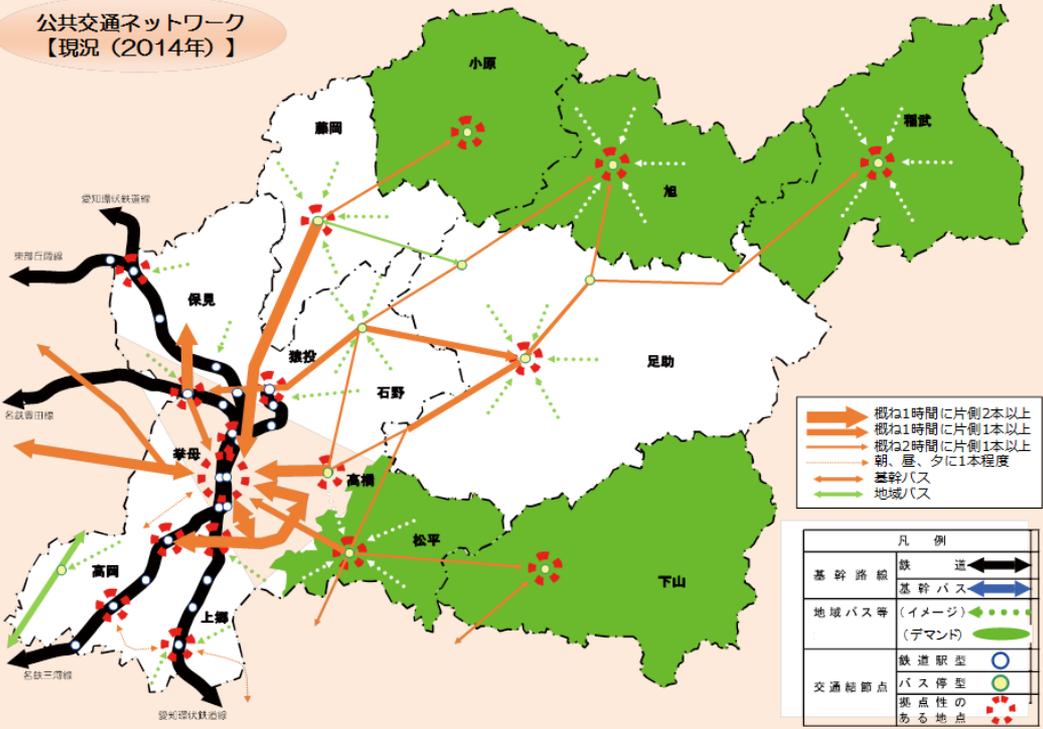


○本市の高齢化率は、年々増加、2040年に31.3%と推計。

○特に、中山間地域で高齢化が進展しており、既に高齢化率が50%に達している地区もある。

豊田市交通の現状（公共交通）

公共交通ネットワーク
【現況（2014年）】

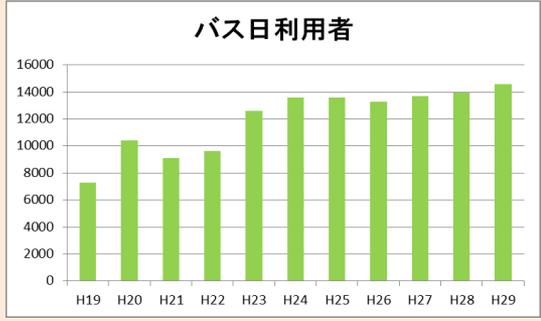
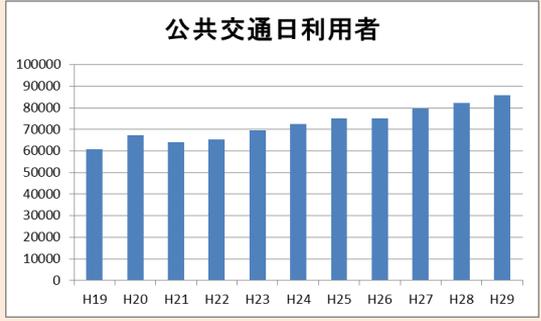


- 鉄 道：都市形成の骨格
←→
- 基幹バス：鉄道を補完し市内各拠点を広域に結ぶ
←→
＜21路線運行＞
（名鉄バス9路線 おいでんバス12路線）
- 地域バス：地域内のフィードとして地域特性に応じ運行
←→
＜14地区で運行＞

● 豊田市のバス（おいでんバス・地域バス）
H30年度年間利用者数 282万人
⇒11年連続増加

毎日運行の公共交通サービスの人口カバー率は、**83.4%**

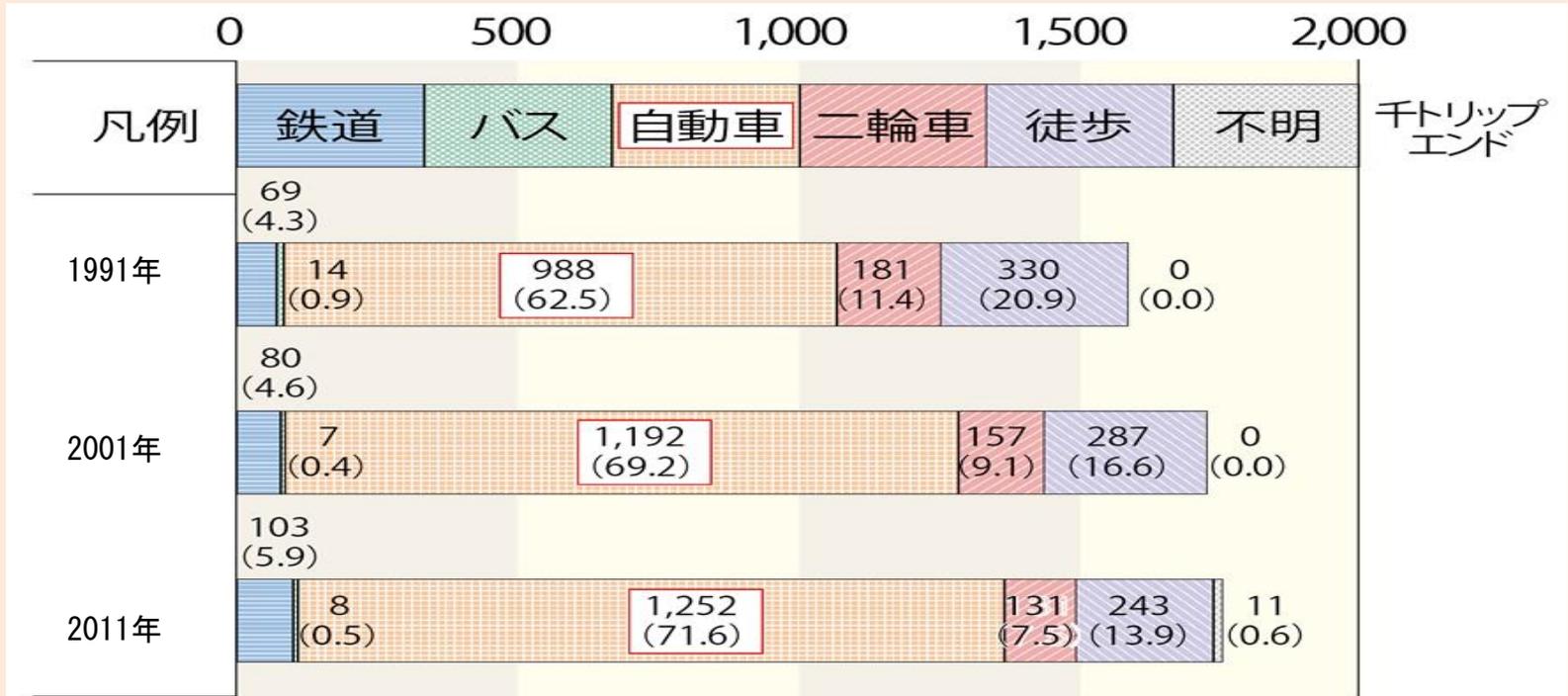
- ・ 2016年現在、駅勢圏を半径1km、バス停勢圏を半径500mで算出
- ・ 都市部では高いが、山村部では低くなっている。



10年前と比べ、鉄道もバスも利用者が大幅に増加



豊田市交通の現状（代表交通手段分担率）



:()内は分担率

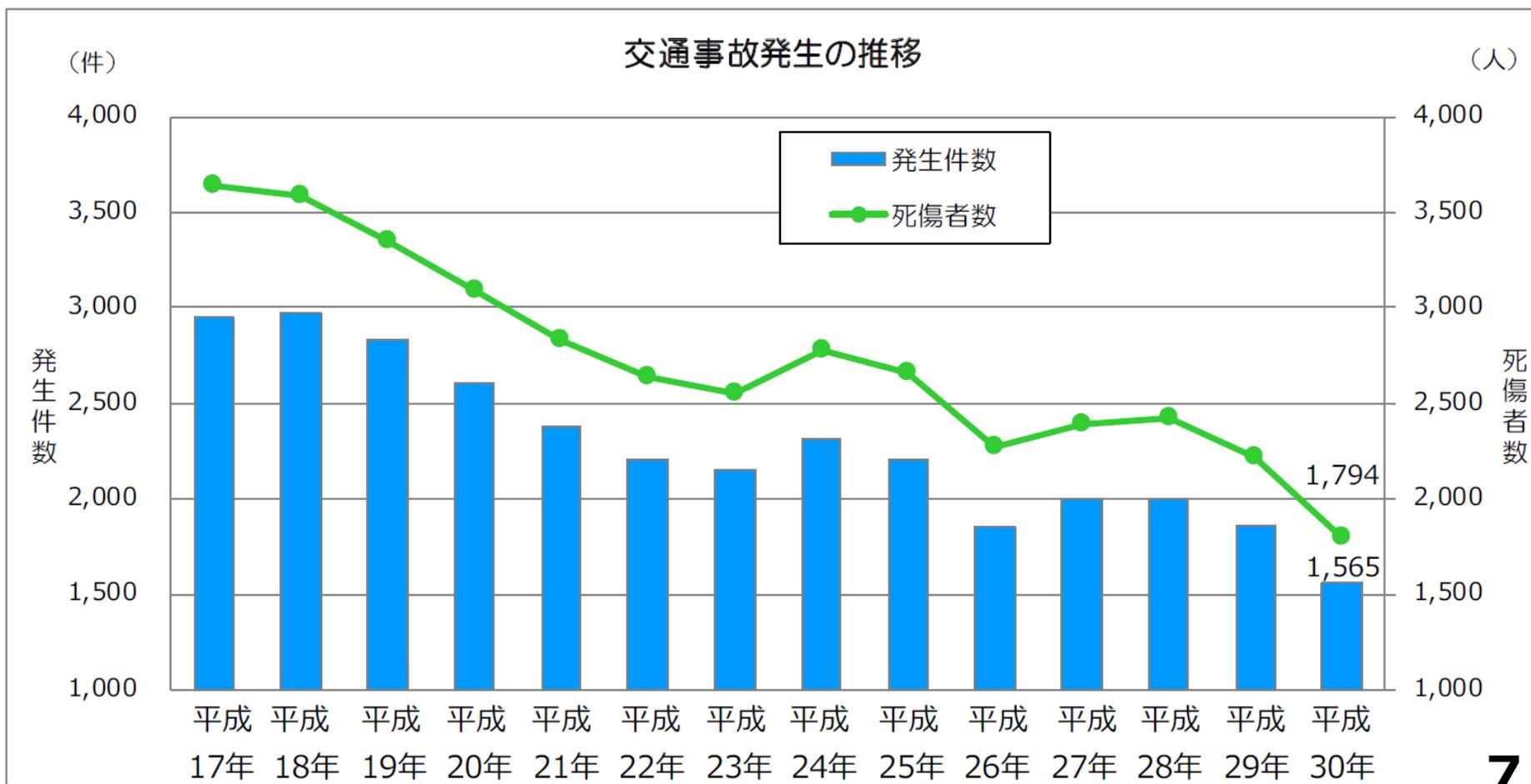
注:第3回圏域を対象とした集計

自動車トリップ数の推移（豊田市発生集中）

- 自動車分担率が増加傾向にあり、7割を超えている。
- 今後も、さらに自動車分担率が増加する見込み。
- 免許保有率は都市圏平均より高く、特に、**高齢者（70歳以上）の保有率が約80%と高い。**

豊田市の交通事故状況

交通事故の死者数・死傷者数とも、減少傾向で推移しており、平成17年の合併時と比較して、死傷者数は、**半減**している。





本年の交通事故状況及び運転免許保有者数等

交通事故発生状況（令和元年8月末現在）

発生件数

918件（前年比▲115件）

死傷者数

1,067人（前年比▲113人）

うち高齢者139人（前年比±0）

交通事故死者数（令和元年9月末現在）

死者数

14件 14人（前年比+7人）

うち高齢者が絡む事故7件（前年比+2件）

運転免許保有者数（65歳以上）

6万人
(2015年)



6万6千人
(2018年) 4年で1.1倍



運転免許自主返納者数

516人
(2015年)



1,039人
(2018年) 4年で2倍



高齢者の移動に関する総合対策

今後、高齢者人口が増加する中で、高齢者が『車を運転しなくてもよい環境づくり』と、『安全に車を運転できる環境づくり』の両輪で超高齢社会への適応を目指す。

方針1

車を運転しなくても
よい環境づくり

高齢者移動手段の確保

- 1 高齢者に適した移動手段の導入及び普及促進(詳細10～16ページ)
- 2 バス高齢者割引制度の創設検討
- 3 タクシー助成の見直し検討
- 4 高齢者向けモビリティマネジメントの拡大

* 2～3は今後制度設計等を検討予定

方針2

安全に車を運転できる
環境づくり

安全運転サポート車等の普及啓発

- 1 より安全性の高いクルマへの買い替えや後付け安全装置の設置促進
- 2 超小型車への乗り換え促進(詳細17ページ)



高齢者の移動手段の確保（タクシー活用）

○利用が少なく運行が非効率なコミュニティバスに替えて、**一般タクシー利用に運賃補助制度を導入する方策の有効性を検証**

○豊田市の地域バスを対象に、タクシー運賃を補助する仕組みへ移行した場合、**ドアツードアでの利便性向上、適用可能な地域や仕組み、自治体の経費節減効果**について検討

移動がもっと便利になります！

鞍ヶ池 実証実験 地域タクシー

山中町在住の方を対象に3月27日より実証開始！

週2回運行 **火曜日・金曜日**

運行時間(乗車開始時刻) **8:00~18:00**

何人でも乗ってOK！

運賃 エリア内 **300円** エリア外 乗降 **600円**

予約電話番号 ☎0565-32-1541 (各線タクシー)
24時間受付 ☎0565-28-0228 (圏外タクシーグループ)

鞍ヶ池地域タクシーとは？
鞍ヶ池地域タクシーは、従来の定額バスに代わり、一般のタクシーを応用してより便利に地域住民の移動をサポートする新たな試みです。まずは、山中町在住の方を対象に実証実験を開始します。

ご利用にあたって
鞍ヶ池地域タクシーは、一般のタクシーを利用するため、タクシーの運賃状況により、乗車の開始に予約を取れない場合があります。また、運行する曜日・時間帯・エリア等があらかじめ決められています。豊田市の定額バスタクシー料金を参照(半額補助)が利用できません。

鞍ヶ池地域タクシー乗降エリアマップ

— 定額バス受渡線
— 鞍ヶ池バス路線(休止)
— 利用可能エリア(山中町)
— 乗降タクシー乗降エリア(山中町:矢野町)
★ エリア外乗降地
● いわのり科クリニック
● 伊藤のぶ 市民店
● 小中 豊田分科 市民店
● メグリアニニ 市民店

エリア内 **300円**

エリア外乗降 **600円**

乗車定員4名	ご利用例
鞍ヶ池地域タクシー運賃 ※小学生以上利用可能 乗車曜日: 火・金曜日 運行時間: 8:00~18:00 (乗車開始時刻) 乗降エリア内 300円 乗降エリア外 600円	自宅から駅までの乗降・駅前センターまで (乗車 300円) 乗降エリア内乗降 地域タクシーで移動 (運賃200円) 駅まで公共交通機関 自宅から駅までの乗降・駅前センターまで (乗車 300円) 乗降エリア内乗降 地域タクシーで移動 (運賃200円) 駅まで公共交通機関 自宅から駅までの乗降・駅前センターまで (乗車 300円) 乗降エリア内乗降 地域タクシーで移動 (運賃200円) 駅まで公共交通機関



○平成30年度1年間の実証の結果

- ・ **ドアツードアで高齢者に好評**
- ・ **利用者29%増加、経費86%削減**
- ・ **令和元年度～本運行開始**
- ・ **他地域への展開調整中**



高齢者の移動手段の確保（たすけあいカー）

○中山間地域に暮らす高齢者等が、住み慣れた場所で最後まで暮らせるよう安全で自由な移動と、地域で安心して暮らせるためのコミュニティの構築

平成28年度～平成30年度まで＜名古屋大学、足助病院、豊田市＞で実証

令和元年度～ 旭・足助地区（実装化）、稲武地区（実証に向けた調整中）



住民共助の「たすけあいカー」



足助病院内に「たすけあいプロジェクト」の事務所を設置

おでかけ促進策

健康教室やイベント等の情報提供

地域の中心地



病院 多目的拠点 スーパー

健康教室

文化教室

買い物

移動支援

多様な交通手段の提供

地域の主要施設



バス停・コンビニ・集会所等
自宅からの乗り物の乗り換え

健康維持

センサーによる生活見守り

高齢者の居住地



仕組み

- 住民の自家用車でボランティアドライバーが住民を運ぶ（会員制）
- タブレットのアプリから予約、システムがマッチング
- ガソリン代実費のみを地域ポイントで精算（無償運送の位置づけ）



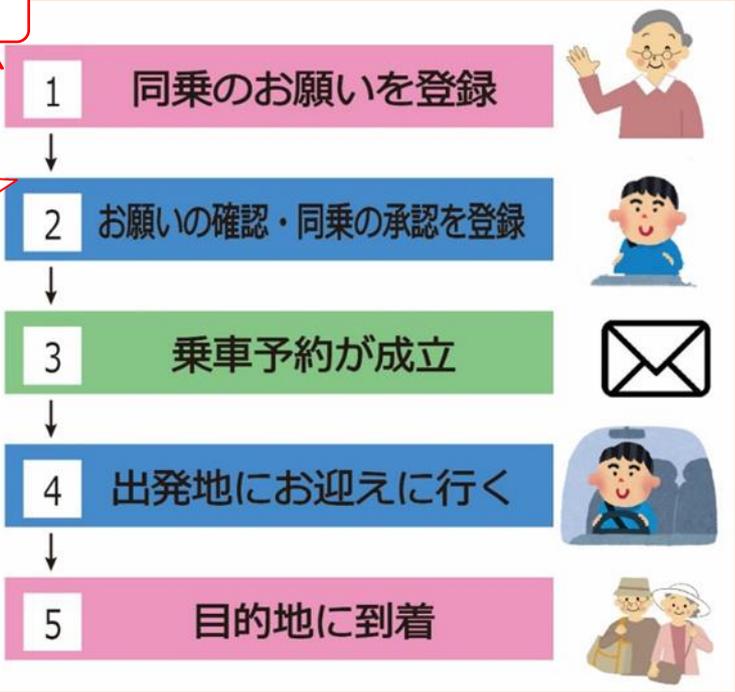


高齢者の移動手段の確保（たすけあいカー）

移動手段の予約

リクエスト

オファー



カレンダーから参加したいイベントをタッチ



マッチングできれば経路表示も



高齢者の移動手段の確保（里モビ）

○地域住民自らが超小型モビリティ「コムス」を中山間地域に適した仕様に改造し、日常の移動用として活用⇒**里モビサークル**
 平成28年度～30年度 <東京大学、名古屋大学、豊田市>で実証



○**里モビ出発式** 平成30年1月18日（木）@足助交流館

地域の課題やニーズを踏まえ、地域住民自らが中山間地域に適した仕様に改造した二人乗り超小型モビリティ(通称 里モビ)が、日本で初めて車両登録の認可を取得。



高齢者の移動手段の確保（里モビ）

○里モビLIFEプロジェクト

これまでの実証で山村地域の高齢者において一定のニーズがあることがわかり、令和元年度からは、有償で地域の住民に貸し出し、地域での共有の可能性や超小型モビリティの活用で移動にストレスをかけない（時間をかけない）ライフスタイルのモデルを検証

里モビ譲渡式（H31年3月9日）@つくラッセル



名古屋大学から（一社）おいでん・さんそんへ車両29台を譲渡



高齢者の移動手段の確保 (デマンドバス)

小原地域バス「おぼら桜バス」 + MONETシステム



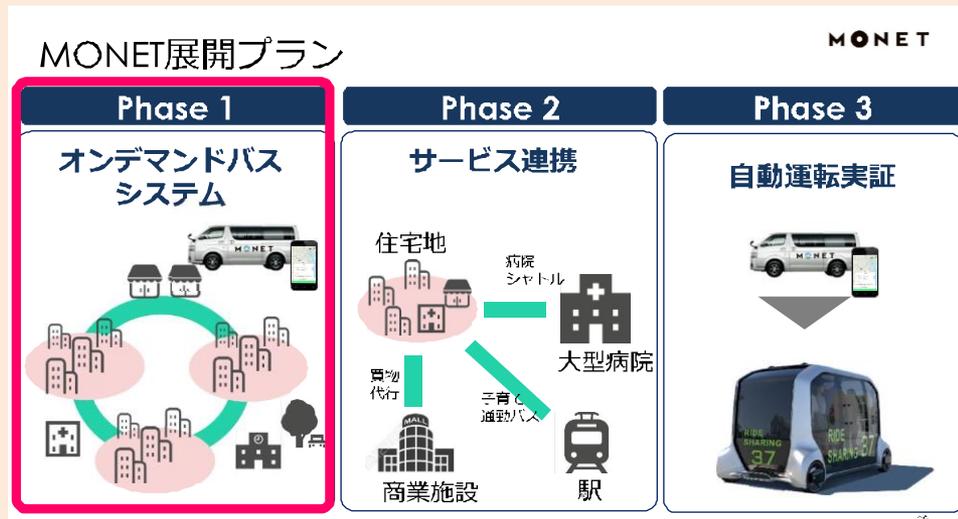
平成31年2月～令和元年5月 実証実験(全国初) 令和元年6月～ 本導入に移行

2018年版 おぼら桜バスマップ

65-3131
24時間365日受付

乗り方の流れ
1. 乗客が乗りたいバスを予約する
2. 予約したバスに乗り込む
3. 乗客が降りた後、バスは自動的に次の乗客を探して運行する

利用案内





安全運転サポート車等の普及啓発

より安全で、ECOな乗り物を普及拡大させる起爆剤として、豊田市ではいち早く補助制度を創設。

先進安全自動車購入費補助制度

実施時期：平成28年7月～30年3月
(現在は、普及拡大により廃止)

対象年齢：65歳以上

補助額：新車購入1台あたり3万円

補助実績：2,426台

先進安全自動車とは、自動ブレーキ等を搭載した安全性能が高いクルマ。

後付け安全運転支援装置設置費補助制度

実施時期：**令和元年12月**～3年3月予定

対象年齢：70歳以上

補助額：1台あたり9割補助(上限6万円)

後付け安全運転支援装置とは、自動車の発進時などにおいてアクセルとブレーキの踏み間違いによる、急発進、急加速を抑制する装置

超小型電気自動車購入補助の拡大

実施時期：**令和元年12月**～3年3月予定

拡充

対象年齢：70歳以上

補助額：1台あたり7.5万円

(通常の補助は1台あたり3.5万円、70歳以上に限定し、4万円の上乗せ補助)

超小型EV(コムスの例)

車両本体価格 約88万円、車検、車庫証明、重量税、取得税は不要

電気代約0.5万円/年



イメージ図





その他の取組【車優先から歩行者優先の社会へ】

交通事故を無くすために、人の意識改革が不可欠！



とよた3Sドライブ
→歩行者保護モデルカー活動



事業車、公用車、個人車に共通のステッカーを貼って安全運転の輪を広げる活動。

とまってくれて
ありがとう運動

ありがとうを伝えること
=ドライバーとのアイコンタクト（安全確認の徹底）

横断歩道での歩行者衝突事故を無くすために、歩行者側から止まってくれたドライバーへ能動的に感謝の気持ちを伝える運動。

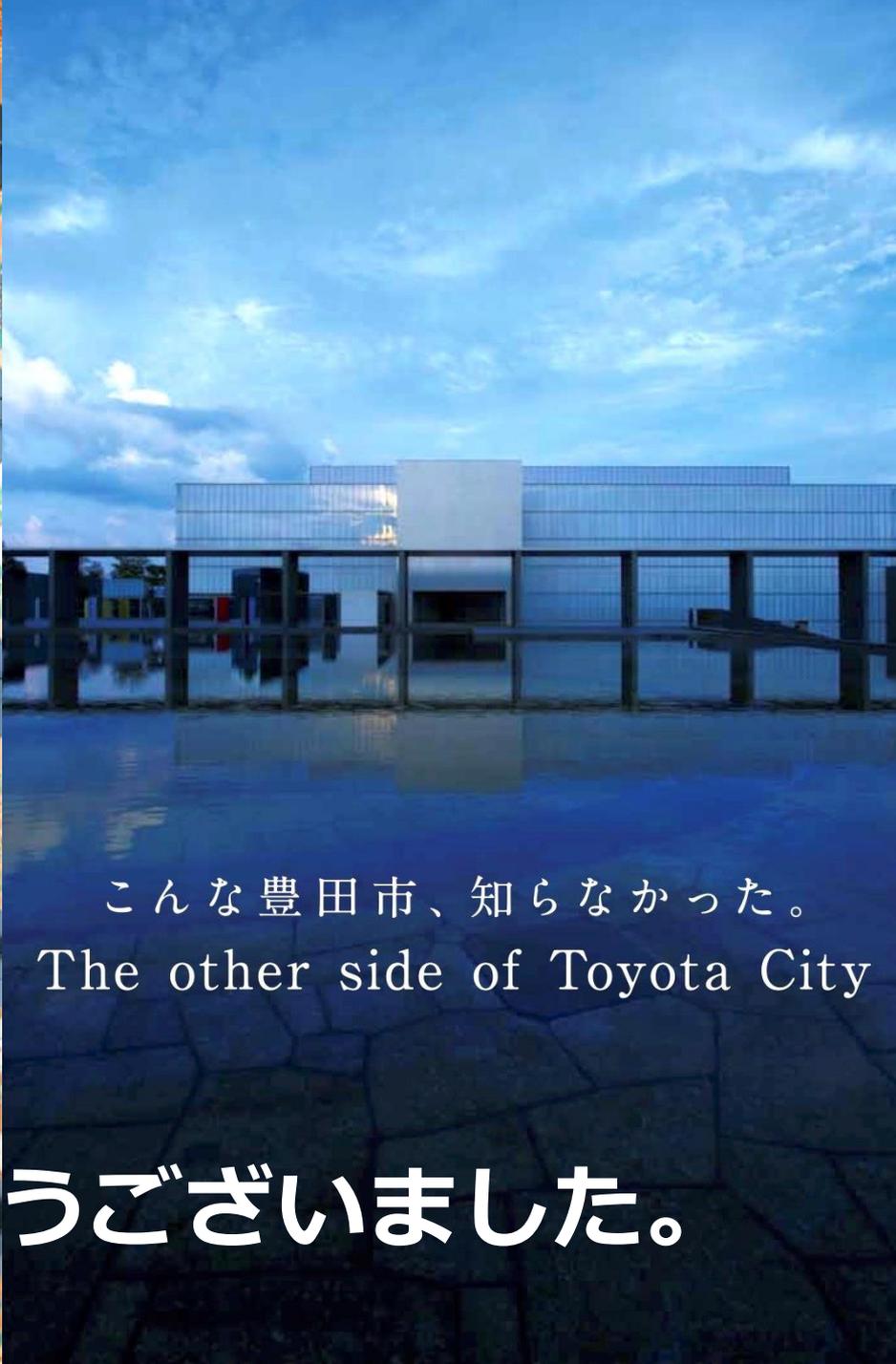
認知機能検査の実施（検討中）

愛知県警察からの委託業務

高齢ドライバー（75歳以上）の運転免許証更新時の認知機能検査を中山間地域の支所において実施予定。（警福連携を視野に入れ検討）



こんな豊田市、知らなかった。
The other side of Toyota City



こんな豊田市、知らなかった。
The other side of Toyota City

ご清聴ありがとうございました。